## (略称) フィリピンとの円借款取極

平成	平成	平成	
五年 三月 十日	月二十	四年十二月二十二日	
告示	効力発生		

平成

(外務省告示第一一四号)

フィリ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	本側	
リピン側	協議	借款の	生産物	借款、	日本国	計画の	生産物	借款の	借款恝	円借款	日本側書簡	目
フィリピン 側書簡		借款の適正使用等	生産物の海上輸送及び海上保険	次 利子等の免税	日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与	計画の進 捗 状況についての報告の提出	生産物又は役務の調達	借款の対象	借款契約の締結及び借款の条件	円借款の供与		次
二四七	二四五		二四四四	二四四四	二四三	二四三	二四三	二四四		三四	<u>-</u>	~
四七	五	四四	四四	四四	四三	四三	四三	四二	四一	<u></u>	四	ページ

フィリピンとの円借款取極

二三九

ピン共和国

政

0

代

表

者と

0

間

で最

近到

達

した次

の了

解

認

政府

0

代表者と

フィ を確

することを目

的

とし

て IJ

フ

1

リピン共和国

0

す

る光栄を有

L 府

ます。

円

借 ٤

款 の

0

供与に

日

本

玉

政府とフィリ

ピン共和国政

間

0

交換

(公文) 関する

日

本

側

簡

訳 供 経 与される日 済 文 書簡 0 開 をもって啓上 発 及 本 び 安定 玉 の 借 の 11 ため たし 款 に ます。 関 0 努力 して日本国 を促進 本使は、

1 書簡 る配 掲げる計 0 ょ ŋ, 額 九十七億六千五百 与され 記分に に までの 附 日 応じ、 本国 ることに 画 属 円 す を うる事 実施 貨による借款 の 海外経 関係法 なる 業計 するため、 万円 済協-令 画 九、 表 に 従っ 力基 (以下 ( 以 下 各計 七六五、〇〇〇、 7 金 画 「借款」という。)が 以 に 事業計 フ つき 下 1 1) 事業計 ピン共 基 画 金」という。)に 表」とい 000円) 和 画表 国 に う。)に 政 この 定 府 8 に

2 (1)用 る借 に 借 関 款 款 0 契約 は、 借 す の手続 契約 フ に 基 ィ によ リピ は づ い っ ン共 T な T か 使 和 規 んずく次の 用に供 玉 制 され 政 さ 府と基金 る。 n る。 原 則 2 を 借 含 0 款 間 む 0 ことにな 条 で 締結 件及び使 さ る n

> (Japanese Note

Manila, December 22, 1992

Excellency,

development and stabilization efforts Republic of the Philippines: extended with a view to promoting the economic of the Government of the Republic of the representatives of the Government of Japan and Philippines concerning a Japanese understanding recently reached between the I have the honour to confirm the following loan to be of the

- allocation for each attached hereto (hereinafter referred projects enumerated in the Project List Economic Cooperation Fund (hereinafter referred to as "the Fund") to implemen Republic of the Philippines by the Overseas regulations of Japan, to the Government of referred to as "the Loan") will million yen (¥9,765,000,000) (hereinafter nine billion seven hundred and sixty-five "the Project List") in accordance with the relevant laws and 1. A loan in Japanese yen up to the amount the Project List. project as specified according to implement to the be extended, the
- Government of the Republic of the Philippines agreements to be concluded between the utilization will be governed by the said loan Loan as well as the procedures for its 2. (1) The Loan will be made available Fund. The terms and conditions by loan

3

- (a) 償 還期間 は、 + 年 の据 置 一期間 の後二十年とする。
- (b) 利子 率 は、 年三パ 1 セントとする。
- (c) は、 表の2に の日から三年とする。 支出期 関係借 掲 間 は、 げる計 款契約 事 画 の発 業計 に つい 効 画 の 表 ては、 日から五年とし、 の 1 に掲げる計画 関係借款契約 事 に 業計 の発 つい 効 画 7
- (2)に締結される。 画の実行可能 (1)にい う借款 性 契 約 (環境に対する配慮を含む。)を確認した の 各 々は、 基金が当該借款契約に 係 る
- (3)延 長することが (1)(c) に いう支出期間 できる。 は、 両 政 府の 関係当局 の 同意 を得 T
- (1)う支払で、 として使用 又は役務 に 結され ら供給 負業者又はコンサル 借款 は、 て、 さ ることのある契約に 0 購入の それ に フ れる役務に 事 供 1 され 計 IJ らの国で生産される生産物 ため ピンの 画 る。 表 に に ついて行われる。 タントに対 掲げ 両者 実施 ただし、 1の間 る計 基づいて行わ 機関が 当該購 して既に で既に 画 調達 0 実施 入 締 適 れるも は、 格国 結 行 又はそ に され 必 ったか又は行 要 調 の供給者、 れらの 達 のを対 たか又は な生産 適格 玉 国 象 物

following principles: agreements which will contain, inter

- (a) The repayment period will be twenty years after the grace period of ten

- per (d cent The rate of interest will be three per annum.
- The disbursement period will be five
- date of coming into force of the relevant mentioned in 2 of the Project List from the three (3) years with regard to the (c) The disbursement period will be five (5) years with regard to the project mentioned in 1 of the Project List and loan agreement. project
- consideration, of the project to which such after the Fund is satisfied of the loan agreement relates. feasibility, including environmental in sub-paragraph (1) above will be (2) Each of the loan agreements mentioned concluded
- of the two Governments. with the consent of the authorities concerned sub-paragraph (1)(c) above may be extended (3) The disbursement periods mentioned in
- produced eligible provided projects as have been or may be entered into between eligible source countries under such contracts suppliers, contractors and/or consultants of cover payments already made and/or to be made required them for purchases of products and/or services by the Philippine executing agencies to 3. (1) The Loan will be made available to those countries. enumerated in the Project List, in and/or services supplied from for the implementation of the source countries for products that such purchases are made in

- (3)適格な 款 現 の 地 部 通 は、 貨 0 需 事 要 業計画表に掲げる計 に 充 てる ため に 使 画の 用 することが 実 施 のための でき
- 4 ない る。 続を 金 の フィリ な 調 か又は適当で 達 か の ピ 6 ため ン ずく定める。)に従って調達され 共 のガイド 和 な 国 い 政 場 府 は、 合を除 ライン 3 (国 < (1)ほか従うべ に 際 い 入札 う生 の 産 き国 ることを 手続 物 又は 際 から 入札 適 役 確 用 務 の手 保 で が す き 基
- 5 (1)提 フィ 出する。 事 リピ 業 計 画 ン共和 表 に 掲げ 国政府 る計 は、 画 の進捗 要請に応じ、 状況 に つ 日 い 本国 T の 政府に対 報 告 を
- (2)施 な 使用を 状況を 両政 に 参 府 加 随 は、 確 時 するよう招 保するため 検 (1)討 にいう報告に基づいて、 L かれ に 必 要に 適当な る。 応じ、 措 置 を 借 とる。 款 共同 の 円 して 滑 基 金 か 借 は つ 効果的 款 0 そ 0 実
- 6 る日 に関 及び同 3 本 連 (1) 玉 国 L に に 民 て 11 は、 う契約に フ お け 1 る滞 作業 IJ ٤ ン の 基づいて行 在 共 に 遂 必 和 行 要 の 玉 な ためフ に 便 お わ n 宜 い てそ る生産物又は役務 を与えられ 1 IJ Ľ 0 ン共 役 務 る。 和 から 国 必 要と の供 0 され 入国 給

- (2) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraph (1) above will be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.
- (3) A part of the Loan may be used to cover eligible local currency requirements for the implementation of the projects enumerated in the Project List.
- 4. The Government of the Republic of the Philippines will ensure that products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3 are procured in accordance with the guidelines for procurement of the Fund, which set forth, inter alia, the procedures of international tendering to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.
- 5. (1) The Government of the Republic of the Philippines will, upon request, furnish the Government of Japan with reports on the progress of the projects enumerated in the Project List.
- (2) The two Governments will jointly review from time to time, on the basis of the reports mentioned in sub-paragraph (1) above, the progress of the implementation of the Loan and take, if necessary, appropriate measures to secure smooth and effective utilization of the Loan. The Fund will be invited to participate in such review.
- 6. Japanese nationals whose services may be required in the Republic of the Philippines in connection with the supply of products and/or services to be provided under the contracts referred to in sub-paragraph (1) of paragraph 3 will be accorded such facilities as may be necessary for their entry into the Republic of the Philippines and stay therein for the

フィリピンとの円借款取

- ローフィリピンキロ国女牙よ、甚会こつゝこ、青女をド
- 7 (1)か する。 和 3 フ 国 生ずる 1 IJ に ピ お 利 ン 子に 共 T 課され 和 対 玉 して又はそ 政 るす 府 は べ て 基 の ħ 金 らに 財 に 政 つ 課 関 て、 連 徵 金 L 又は てフィ 借 款 租 及 税 IJ びそ Ľ を 免 ン n
- (2)課され づ ル い 関 に タント フィ 若 対 て行わ るす しく IJ L て又は Ľ بح ベて は n L ン る生産 て活 共 関 係 そ 0 和 動 機 財 n 玉 政課徴 物若 関 に関 する日 政 を通 府 連 しく は、 金 本 じて負担する。 し 又は T は 国 供 フィ 給 役務の供 の会社及 租税 者、 IJ ピン を自ら又は 請 給 び 負 共和 围 業者又 か ら取 民 カジ 玉 そ は 得 借 に 款 コン の す お 実 る に い 施 サ 基 T 所
- 8 (1)い 本 に 国とフ 関 て海運 両 し、 政府 1 干 は、 を発展 リピン 九百七十九年五月十 借 させるため 款 共 に 和 基づい 国と に の て購 相 間 白に 互の協 の友好 入され マニラで署名さ る生 力を促 通 商 航 産 海条約 物 進する。 の 海 に基 n 上 た日 輸 送 づ
- (2)保険会社 に か な 関し、 両 る制 政 府 の間 そ は、 限 も n ぞ 課 の 借 n さ 公正かつ 款 な の に 11 国 基 の づ 自 関 い 由 係 て購 な 法 令の 入さ 競争を n 範 囲内 る生 妨げること で、 産 物 両 0 0 玉 海 あ 0 上 る 海 保 上 険
- 9 な フ 1 置 をと IJ. Ľ る。 ン 共 和 玉 政 府 は、 次 の ことを確保するために 必 要
- (a) す るため 款 から に 適 使 正 に 用 さ カン n つ るこ 専ら3 (1) に い う 生 産 物 又は 役務 を 購

入

performance of their work.

四四四四

- 7. (1) The Government of the Republic of the Philippines will exempt the Fund from all fiscal levies or taxes imposed in the Republic of the Philippines on and/or in connection with the Loan as well as interest accruing therefrom.
- (2) The Government of the Republic of the Philippines will, itself or through its executing agencies or instrumentalities, assume all fiscal levies or taxes imposed in the Republic of the Philippines on Japanese firms and nationals operating as suppliers, contractors or consultants on and/or in connection with any income that may accrue from the supply of products and/or services to be provided under the Loan.
- 8. (1) With regard to the shipping of products purchased under the Loan, the two Governments will promote mutual cooperation for the development of shipping, under the Treaty of Amity, Commerce and Navigation between Japan and the Republic of the Philippines signed at Manila on 10 May, 1979.
- (2) With regard to the marine insurance of products purchased under the Loan, the two Governments will refrain, within the scope of the relevant laws and regulations of their respective countries, from imposing any restrictions that may hinder fair and free competition between the marine insurance companies of the two countries.
- 9. The Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to ensure that:
- (a) the Loan be used properly and exclusively for purchases of products and/or services mentioned in sub-paragraph

こと。目的のために適正にかつ効果的に維持され及び使用されるい。借款に基づいて建設される施設がこの了解に定められた

あるいかなる事項についても相互に協議する。10 両政府は、この了解から又はそれに関連して生ずることの

て確認されれば幸いであります。本使は、閣下が前記の了解をフィリピン共和国政府に代わっ

って敬意を表します。本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

千九百九十二年十二月二十二日にマニラで

日本国特命全権大使 新井弘一フィリピン共和国駐在

フィリピン共和国

外務長官 ロベルト・R・ロムロ閣下

- (1) of paragraph 3;
- (b) the facilities constructed under the Loan be maintained and used properly and effectively for the purposes prescribed in this understanding.

10. The two Governments will consult with each other with respect to any matter that may arise from or in connection with this understanding.

I should be grateful if Your Excellency would confirm the foregoing understanding on behalf of the Government of the Republic of the Philippines.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Hirokazu Arai Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Republic of the Philippines

His Excellency
Roberto R. Romulo
Secretary of Foreign Affairs
Department of Foreign Affairs
of the Republic of the Philippines

				計画
	事業計画(Ⅱ)(追加融資) 2 パリンピノン地熱発電所建設	環境改善事業計画		事業計画表
	三十六億五千三百万円	六十一億千二百万円	(限度額)	
4	<ol> <li>Additional Financing for the Palinpinon II Geothermal Project</li> </ol>	<pre>1. Calaca I Coal-Fired Thermal Power Plant Environmental Improvement Project</pre>		Project List
	3,653	6,112	(Maximum amount in million yen)	

(訳文)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもって啓上いたします。 本長官は、 本日付けの閣下の

日本側書簡

共和国政府に代わって確認する光栄を有します。 本長官は、 更に、 閣下の書簡に述べられた了解をフィリピン

か って敬意を表します。 本長官は、 以上を申し進めるに際し、 ここに重ねて閣下に向

千九百九十二年十二月二十二日にマニラで

7 1 リピン共和国

務長官 口 べ ル ٢ R 口 4 D

7 1 リピン共和国駐在

日本国特命全権大使 新井弘一 閣下

(Philippine Note)

(フィリピン側書簡)

Manila, December 22, 1992

Excellency,

receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows: I have the honour to acknowledge the

"(Japanese Note)"

the Philippines the understanding set forth in Your Excellency's Note. behalf of the Government of the Republic of I have further the honour to confirm on

consideration. I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest

of the Republic of the Philippines (Signed) Department of Foreign Affairs Secretary of Foreign Affairs Roberto R. Romulo

and Plenipotentiary of Japan to the Republic of the Philippines Ambassador Extraordinary Hirokazu Arai His Excellency

この取極は、海外経済協力基金がフィリピン政府に対し、九十七億六千五百万円までの円借款を

供与することについての両政府の了解を確認したものである。